



学院史編纂室便り

No. 31
2010年 5月15日
関西学院学院史編纂室

★ 井上琢智経済学部教授が学院史編纂室長に

任期満了に伴い、文学部の永田雄次郎教授に代わって、4月より経済学部の井上琢智教授が学院史編纂室長に就任しました。2～3頁に掲載の「学院史編纂室の取り組みについて」をご覧ください。

★ 『関西学院史紀要』第16号発行

3月25日に『関西学院史紀要』第16号を発行しました。第6号以降の目次は学院史編纂室のウェブサイトに掲載しています。配布を希望される方は学院史編纂室までご連絡ください（創刊号、2号は在庫なし、12号以降は在庫僅少）。

〔論文〕

関西学院神学部における朝鮮人学生入学関係書類の分析(1913-43年)
関西学院の呼称について
1920年代の関西学院文学的環境の眺望

李 徳周
池田 信
大橋 毅彦

〔記録〕

第27回 関西学院史研究月例会 名曲「U Boj」のルーツと関西学院グリークラブ

軽部 潤

〔資料〕

村上博輔日記抄(9)

〔シリーズ 関西学院の人びと〕

17 定方 末七郎(塊石)
18 田中 義弘

〔寄稿〕

祖父、田中義弘をめぐって

中條 順子

〔学院史編纂室共同研究報告〕

神田 健次、井上 琢智

★ M. I. ランバスに関する寄稿文（小見のぞみ教授）

聖和短期大学の小見のぞみ教授が執筆された”Honoring the Name of Mary Isabella Lambuth”が *Kyodan Newsletter*, No. 356, February 2010 に掲載されました。インターネットで日英両文が公開されています。日本基督教団トップページから *Kyodan Newsletter* をご覧ください（印刷物の発行月は February、ウェブサイト上は March）。なお、3月8日に竣工式が行われた山川記念館2階には、聖和大学の前身のひとつであるランバス記念伝道女学校創立者を記念した「メアリー・イザベラ・ランバス・チャペル」が設けられています。

★ 故蛭沼寿雄先生『新約本文のパピルス』第Ⅲ巻刊行事業

前号でご紹介した故蛭沼寿雄先生『新約本文のパピルス』第Ⅲ巻刊行事業に対し、80名を超える方々から目標額120万円を大幅に上回るご寄付を頂戴し（3月末現在）、資金的にも作業的にも予定通り本年夏に刊行できる運びとなったとの報告を同書刊行委員会から受けました。また、学院史編纂室にとりましても、この募金活動を通してご縁ができた卒業生の方から、戦前の学生時代や戦中戦後の貴重な資料を拝見させていただくことができました。温かいお心を当室までお届けくださった皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

★ 時計台の耐震補強工事

耐震補強工事が学内で順次行われていますが、この夏は時計台がその対象になります。学院史編纂室も7月中旬から9月中旬まで移転し、仮事務室（場所未定）での業務となる予定です。資料の利用をお考えの方はご注意ください。

新任教職員で、図録『関西学院の100年』、『関西学院百年史』（全4巻+索引）をご希望の方は、学院史編纂室（西宮上ヶ原キャンパス時計台1階）までお越しください。